

2016.7.1 第1174号  
ISSN 0913-0217

発行人／長 瀬 清  
発行所／北海道医師会  
〒060-8627  
札幌市中央区大通西6丁目  
TEL(011)231-1432  
FAX(011)221-5070

# 北海道医報

2016

7  
月号



北海道 美の遺産

北岡 文雄

摩周湖

北海道立近代美術館 所蔵

# CONTENTS

北海道医報  
平成28年7月1日 第1174号

指標／医療従事者の需給に関する検討会 医師需給分科会中間取りまとめ(案)について  
小熊 豊……………3

医の倫理綱領……………8

北海道医師会公示・告示……………9

生涯教育シリーズXXI／進行食道癌に対する集学的治療……………岩永 一郎……………10

日本医師会綱領……………13

報告／第51回北海道総合保健医療協議会総会および各専門委員会……………深澤 雅則……………14

投稿／今後の道内の産婦人科医師数の見通し……………吉田 博……………18

最新・医事紛争Q&A／前医の医療事故と後医の届出義務……………黒木 俊郎、加畑裕一朗……………20

税務相談室／平成28年度税制改正(その2)……………中村 孝一……………22

北海道医歌人会詠草……………23

会員のひろば……………千葉 仁志、鍋島 幸子、細井 勇人、紙谷 寛之  
菅原 誠、皆川 公夫、小島 正、坂本 淳、河上 純彦  
牧口 光幸、政氏 伸夫、羽田 健一、谷口光太郎、浦澤 正三  
乾 典明、太田 耕平、大野 一典、岡本 呉賦、真口 宏介……………24

ポラリスを仰ぐ北の大地から……………山下 敏彦、稲川 昭……………40

大通公園を望む窓辺から……………伊藤 利道、岡部 寛裕……………41

医学会・医学講演会等 開催情報……………42

中央42 道南48 後志49 日胆49 空知51 道北51 北見54 道東55

日医認定産業医制度研修会開催一覧……………56

日医認定健康スポーツ医制度再研修会開催一覧……………58

道医の動き……………58

訃報……………59

会議室／第3・4・5回常任理事会、第2回理事会……………60

新規指定医療機関……………65

売貸医院・医師招聘情報……………66

道医師国保の頁……………70

季節風／高効率の個別化医療システムと職務分轄システムの展開  
—超高齢社会を乗り切る医療・介護体制の構築のための処方箋—……………橋本 洋一……………76

## お知らせ

「保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士及び歯科技工士の業務従事者届」の一部改正に関する周知7／「応急手当WEB」「救急医療啓発パンフレット」へのリンク依頼12  
—生命保険「団体扱い」のお奨め—16／日本医師会作成『心肺蘇生法CAB+Dカード』17  
女性医師等支援事業を推進しています。39／研修会等への託児サービス併設費用の助成59  
特定健康診査受診券(全国健康保険協会)に係る対応64／北海道医師会 育児サポート事業  
のご案内65／ストレスチェック制度サポートダイヤルおよびQ&Aのご案内69  
電子メールによる会員への情報提供69／グループ保険のご案内75

|           |              |            |              |    |           |
|-----------|--------------|------------|--------------|----|-----------|
| 北海道医師会会員数 | 8,308名 (+48) | うち日本医師会会員数 | 5,879名 (+26) |    |           |
| A         | 2,477名 (+4)  | B2         | 4,594名 (+42) | C2 | 141名 (-2) |
| B1        | 599名 (+2)    | C1         | 106名 (±0)    | C3 | 391名 (+2) |

平成28年5月31日現在 ( ) 内前月比

## 作品紹介

きたおか ふみお  
北岡 文雄 摩周湖

1918(大正7)年～2007(平成19)年  
東京都生まれ。  
1967(昭和42)年の作品。木版・紙(47.8×63.6cm)。

1936年、東京美術学校の油彩学科に入学。在学中に創作版画の先駆者・平塚運一の教えを受けて、木版画の道へ進んだ。  
1955年にはフランスへ留学。美術学校「エコール・デ・ボザール」で木版を学び、パリ在住の画家・長谷川潔の知遇を得た。  
帰国後は妻の故郷である札幌に一時滞在。全道美術協会の

## 北海道美の遺産

写真・資料提供：北海道立近代美術館  
(札幌市中央区北1条西17丁目 011-644-6881)

会員となり、札幌版画協会の設立にも尽力、北海道の美術家たちと交流を深めた。

「何れの季節もそれぞれに美しい」と語る作者は、北海道の風土に想いを寄せている。厳しい自然と一体になって生きようとする人のあり方、南方の開放感あふれる精神とは異なる意思の強さ。自然の中で思索し生活を営む人々の暮らしは、作者の共感を誘い、描く風景に人間味を加えた。

短い夏の爽快な雰囲気伝える一方で、うねる草花は生命力にあふれ、深い青に染まる湖は神秘的で力強い。確かな骨格で広がる風景は、北国ならではの強い意思を内包している。